



未来を夢見て Season 2

2021/7/12 No. 88

教師は授業で勝負する ～全校授業検討会、初任研授業研究会を終えて～

7月6日（火）に晴れて以来、結局雨模様の続く一週間となりました。子供たちは外遊びができませんが、それでも雨の日の暮らし方のルールを守って室内で安全に過ごすことができたようです。7月7日（水）の放課後には、前日の猪股先生の授業の事後検討会が全職員参加で行われました。昨年度はコロナ禍で、参観も事後検討会も該当学年だけの状況だったので、やっと研究も日常を取り戻しつつあるように思います。ワークショップでの検討、分科会報告、そして安藤教頭先生永沼教頭先生からの指導助言、全員で成果と課題を共有し、今後の研究へのモチベーションを高めることができました。準備にあたった五十嵐先生はじめ研究推進の先生方ありがとうございました。



そして、事後検討会の翌日には、4年3組で千葉先生の事後検討会を受けた授業提案がありました。小野小学校の研究のよさは、このように事後検討会が終わっても、さらによりよいものを求めて追求していく教師集団にあることにあります。

今年度は、この後、9月の連サポで5年生、6年生の授業提案、12月の指導主事訪問で1年生、3年生、もみじの授業提案が予定されているので、全員で授業に参加し事後検討会ができるのは10月の2年生のみになります。今回の全校授業検討会を終えて、各学年でも研究の方向について確認するよい機会になったものと思います。



7月9日（金）には、校内研究とは別に2年2組の小室先生が研究授業を行いました。初任の先生は年3回細案を書いて研究授業に取り組みます。教科は算数。単元は「水のかさ」です。

4年生の先生方が提案したしっとりした落ち着いた国語の授業とは対照的で、わいわいがやがや子供たちが楽しく活動に取り組む姿が印象的でした。検討会で、今回の授業提案のために3組で事前授業を行ったり、たくさんの教材教具を学年で協力して準備してきてくださったことが紹介されました。また、授業づくりで大切な課題設定や発問のあり方、低学年の子供たちには操作活動や具体物の提示が有効であることなど、改めて確認することができました。授業を提案していただいた小室先生、指導教官の池山先生、豊嶋先生、そして小室先生をいつも温かく支えていただいている2年生の先生方、お疲れ様でした。

今週は連サポに地区別参観が続きます。保護者の方々も子供たちの様子を見るのは初めてになります。きっと安心してお子さんの様子を知る機会になるものと思います。（文責：手代木）